



2022年12月20日

株式会社 阿波銀行

有限会社井内清掃の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社井内清掃（代表取締役 井内 幸一、本社：徳島県名西郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	有限会社井内清掃
所在地	徳島県名西郡石井町石井字城ノ内 115 番地 3
代表者	井内 幸一
業種	一般廃棄物処理業
設立	1979年3月14日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



## 有限会社井内清掃 代表取締役 井内 幸一

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	地域の水質・環境の向上	浄化槽を常にクリーンに保ち、地域の人々が安心かつ快適に過ごすことができる環境づくりに努めます。	① (1)公益社団法人徳島県環境技術センターの浄化槽法定検査における水質定期性率向上 (2)講習・研修を通じた社員の技術力向上		
			② (1)2025年度までに水質適正率90% (2)毎年、全社員参加実施		
社会・経済	ハラスメントの禁止	社内におけるあらゆるハラスメント防止の活動を行い、社員がのびのびと働ける職場環境の整備に努めます。	① (1)匿名の社内窓口の設置 (2)社内教育やパンフレット配布等による周知		
			② (1)2025年度までに設置、社員に周知 (2)年2回の研修実施、2025年度までに社内パンフレット作成し全社員へ配布		
環境・社会	環境問題の認識・理解の推進	環境問題を自分事として取組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。	① (1)社員に対するポスターやパンフレット配布等による普及・啓発 (2)社内の環境取組みに関する表彰制度の整備		
			② (1)年2回実施 (2)2027年までに整備		
社会	従業員のウェルビーイングの向上	心身共に健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	① (1)残業時間の短縮 (2)有給取得率の向上		
			② (1)月平均残業労働時間 2時間以内 (2)年間有給休暇、最低5日間取得率100%		

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。